

2025年度 8月 1日



# オ リ ー フ 通 信

二人または三人がわたしの名によって集まるところ  
には、わたしもその中にいるのである。

マタイによる福音書 18章20節  
神愛保育園

## 「8月になりました」

今年は、梅雨入り後から雨がほとんど降らず、7月は毎日真夏のような日々でした。先日、7月の平均気温がでていましたが、ほぼ全国的に記録的な高温だったことが発表されていました。8月も気温が高いことが予想されています。今月も引き続き熱中症に気をつけながら、プールや水遊びなどの夏らしい遊びを沢山楽しんでいきたいと思います。

先月は、年中・年長さんのお泊り保育がありました。毎年、行っていたあきる野市にある森林村の周辺で熊の出没が確認されたためにとっても残念でしたが断念しました。6月から子どもたちとキャンプに向けての話し合いなどを行っていたため、宿泊先を園舎に変更しました。そして、観光バスも予約していたため職員で話し合い千葉県にある鴨川シーワールドへでかけました。水族館では、海に生息する生き物たちに触れ、多くの種類の生き物がいることに気づいたり、図鑑で見ていたシャチやイルカなども近くで見ることができ、その大きさなども知る機会となりました。家族と離れてお泊りすることや、身の回りのことを一人でできたため、翌朝の子どもたちの顔は自信に満ち溢れていました。この行事が実施できたのは、保護者の方々のご理解とご協力があったことです。心から感謝申し上げます。詳しい内容は4・5歳児お泊り保育の報告も載っていますので、是非ご覧下さい。

神愛保育園では、夏休みの期間を利用して毎年、小学5年生から中学・高校生までの子どもたちを対象とした「一日保育士体験」を実施しています。今年も卒園児が数名、保育園に来て子どもたちと過ごします。先日、一日保育士を体験した卒園児…つくし組(0歳児クラス)を希望したので入ってもらおうと、子どもたちの感情を汲み取ることが難しかったとのことでした。しかし「子どもたちの笑顔が可愛くて、こっちまで笑顔になりました」と嬉しい感想をもらいました。少子化が進んでいる昨今、小さな子どもたちとの関わりを通して、頼りにされる経験や自分の力を発揮することで喜びを感じる経験はとても大切なことです。また、8月の夏休み中、保育士体験で保育園へ来てくれる卒園児との出会いは、子どもたちにとっても楽しみです。

私たちは「卒園児のふるさとのような保育園」と願って、卒園児とのつながりを大切にしています。今月末には清里へ卒園児キャンプに出掛けたり、月に一度のあそび道場、定期的に同窓会なども行っています。6年間の保育園での関わり後も、その先の成長した子どもたちに会えることが何よりも嬉しい時間となっています。

一日保育士  
体験中です



神愛保育園 主任 大須賀 靖子

🌸 今月は平和教育の月です。子どもたちに戦争の悲惨さを伝えるとともに、一人一人の違いを認め合いながら、一人一人の良さを発揮できる世界になって欲しいと願っています



## 4・5歳園内お泊り保育報告

7月11日（金）～12日（土）に1泊2日で4・5歳お泊り保育を行いました。当初は東京都あきる野市にある「コテージ森林村」に行く予定でしたが、「熊が森林村まで来ている。」との情報を受け、園内でのお泊り保育に変更しました。子どもたちに「クマが森林村に来ているんだって！」という話を伝えると「それは怖い。食べられちゃうよ。」と不安な表情を見せる子どももありました。せっかく楽しみにしていたキャンプだったので楽しい思い出を残してあげたいという担任達の思いもあり、少し遠出の場所、鴨川シーワールドに行くことにしました。森林村に行く準備を進めていたので、前日は森林村からなぞ？の忍者からの手紙が届きました。「クマがでるから森林村に行けなくなったこと」「保育園に泊るから来てもいいよ」という返事を送ることを子どもたちで話しあって決めました。お泊まり時の子どもたちの様子をお伝えしたいと思います。

**1日目**・・・当日はいつもより登園の早い子どもたちでした。年中さんは初めてのお泊りでしたが「行ってくるね」と誰も泣かずにお父さん、お母さんと別れることができました。森林村ではなく鴨川シーワールドに行くことになった子どもたちは、この日を楽しみにしていました。道中から見える景色で新幹線の車両基地や羽田空港近くで飛行機が目の前を飛んでいるのを見てバスの中は終始、興奮状態でした。アクアラインを通り目的地の鴨川シーワールドに到着すると目の前が海だったので驚いていました。楽しみにしていたシャチのモニュメントの前で写真を撮った後は、年中、年長に別れて水族館内を見て回りました。カニやクラゲ、コブダイ、マグロ、シロイルカ・・・など「すごく大きいね」と見る魚の大きさに驚いていました。昼食後のもう一つのお楽しみ「シャチのショー」。年長さんは行く前から「前の席で見る！」のリクエスト通り「前列」で、年中さんはシャチを見て怖くなった為「後ろの席」で見ることにしました。レインコートを着て準備万端でしたが、シャチの迫力とものすごい水しぶきで年長さんはずぶ濡れ。後ろにいた年中さんまで濡れてしまいました。シャチにお別れをして保育園に戻り、年長さんはクッキングがありました。今回は園内に泊まるので翌朝の味噌汁の具材の人参、大根を切りました。夕食を終えてその後のお楽しみをウキウキしながら待っていたところ、森林村からまさかの忍者からの「挑戦状」が届きました。「挑戦状」はグループごとになぞを解いて、正解したら屋上に行くというゲームでした。正解して屋上に行くと忍者から「花火」の贈り物があり、1人ずつ手持ち花火をして「きれいだね」と夜空の中で花火を楽しみました。それからもうひとつのお楽しみ「お風呂の時間」。ビニールプールにお湯を溜め、年長さんが事前に入浴剤を買いに行ったので泡のお風呂とヒノキの香りのお風呂に入りました。さっぱりして気持ちよくなり、今日は早めの就寝です。

**2日目**・・・翌朝。4：30に起きていた子もいましたが、みんな朝までぐっすり眠れたようで「おはよ～」と1人が起きると他の子も「おはよ～」と目覚めてました。（全員、6時には起きています！）早い朝だったので、朝食までは昨日の話をして過ごしました。そして、「朝ごはんだよ～」と声が聞こえると、お腹ペコペコの子もたちは「やった～！ごはんだよ！」と喜んで席に着きました。朝ご飯のメニューは年中さんが作った「ふりかけ」と年長さんが作った「味噌汁」でした。「年中さんが作ったふりかけ、おいしい～」「年長さんの味噌汁もおいしいよ～」とおかわり分も全部食べていた子どもたちでした。帰りの身支度をしていると、またまた忍者から大きな「すいか」が届きました。子どもたちも「忍者が見てくれたんだね。ありがと～」とお礼をし、最後のお楽しみ「スイカ割り」をしました。年中さんは初めての経験でしたが、周りのお友だちが「右だよ」「左だよ」と目隠ししているので歩く方向を優しく教えてくれてました。子どもたちでは割れず、最後は大人の番になり さんが割ってくれたのでようやく食べることができました。あっという間の2日間でしたが「楽しかった」「また泊まりたい」という子どもたちの声を聞くことができ、子どもたちの成長の姿が見られました。

### <8月のねらい>

- ・水に触れて心地良さを感じながらプール活動を楽しむ。
- ・プール遊びの中で自分なりの目標を持ち挑戦していく。

### <8月の歌>

- ・うみでおよく

鴨川シーワールド  
の様子



シャチの水  
しぶきにビ  
ックリ!

クッキングの様子



花火、スイカ割り  
の様子



ぶどうグループ

りんごグループ

年中



さくらんぼグループ

いちごグループ

年長



## 保健だより 2025 年 8 月



7 月は季節外れの猛暑日もあり、暑さ対策が必要となりました。8 月に入り残暑が厳しいとの予報から、長い夏の始まりとなりました。園では環境面・気候状況をみながら、水遊び・プール活動が行われています。身体に堪える気候が続く中、お子さんたちの安全と健康を第一に活動していきます。

### 【プライベートゾーンのお話し】



プール活動が始まる前、6 月 19 日に “おしえてくもくん” という絵本を年長さんと読み、プライベートゾーン（水着を着た時に隠れる部分を指します）のお話しをしました。年中の時にもお話しをしたことから、「水着だよねー。」「トイレはノックするんだよねー。」と活発に発言するお子さんたちでした。自分の身体の中には大切なところがあり、人に見せたり触らせてはいけないことをもう一度お話ししました。また「なぜトイレはノックするのかなあ？」との問いには、「お友だちのプライベートゾーンが見えちゃうといけないから。」と答えるお子さんもいました。自分の心や身体だけでなく、お友だちの心や身体も大事にすることを確認できた時間となりました。

### 【百日せき】

3 月中旬から全国的に流行した百日せきの流行が、現在も続いています。異例の長い流行と言えます。

風邪症状から始まり、次第に咳が増強します。適切な抗菌薬を使うことで、軽快します。月齢が低いと重症化することがあるので、注意が必要です。母体から免疫を受け継ぐことのできない病気なので、定期摂取となっている四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風及びポリオ）ワクチン接種を受けることが重要となってきます。登園のめやすは、抗菌薬を開始後 5 日以上経過、特有の咳が消失して、全身状態が良好であることです。また抗菌薬は決められた期間服用することが必要です。（通常 2 週間）この疾患は意見書が必要となります。治療後に登園される時には提出をお願いします。意見書は園にあります。また江東区 HP からダウンロードできます。

### 【熱中症】

今年の夏は長くそして気温が高いとの予報が出ています。先月は、季節外れの暑さで高温に慣れていないため、暑さが堪える季節となりました。そうしたなか、夏本番の時期に入り、一層の熱中症対策が必要となります。まずは何よりも無理をしない事、熱中症アラートが発令されている日には、出来る限り涼しい場所で過ごしましょう。

お泊り行事を控えていたこともあり、7 月 3 日年中・年長さんへ熱中症のお話しをしました。水分をとること・休憩をすること・何よりも体調が悪いと感じたら大人に知らせることを確認しました。

## 食事だより

### ★ 採れた野菜を使ってクッキングをしています ★

7月になり、春に植えた夏野菜が収穫の時期を迎えています。毎年ひまわり組のお泊り保育では森林村でキャンプをして年長がカレー作りをするのですが、今年度は保育園に泊まるということで食事に園で収穫した野菜を使用しました。夕食のカレーライスに年長が収穫したなすを入れ、副菜には年中が収穫したきゅうりを使用し、味噌を隠し味に塩昆布和えにしました。収穫量も多かった為にどちらもたくさん作ったのですが、全て完食！キャンプ場に行けない分、園に泊まる良さを感じた夕食でした。

テラスの環境が夏野菜に適しているようで、ちゅうりっぷ組でもなすときゅうりがたくさん採れて何度も収穫野菜を使って様々なクッキングを行いました。今は年中の枝豆を何回か収穫しています。

年長の枝豆は植える時期が遅くなってしまい、あと少しで食べごろです。収穫したらまたお伝えしますので、楽しみに♪



## ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



気持ちよく晴れ渡った青空に、照りつけるような陽射し。いよいよ夏本番がやってきましたね。7月からひだまりでは水遊びを始めています。毎年特に人気の噴水マットでは0歳の赤ちゃんも初めての水に触れ、心と体を開放して遊び込む姿が見られました。

保育園のテラスでプール遊びも出来るようになり、夏休みに入った幼稚園のお子さんも、小さなお子さんも親子みんなで一緒に楽しんでいます。



7月の「保育園であそぼう」のプログラムでは、スライム粘土を作りました。土曜日にもかかわらず多くの方にご参加いただき、在園児親子と、ひだまり親子との交流もできた良い機会となりました。



# ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。  
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、  
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを  
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2025 年 7 月 1 日（火） 天気 晴れ もも組（2 歳児）

## 「自分より小さいお友だちと遊ぶときは…」

今日は水遊びをする子どもと、室内で遊ぶ子どもとで分かれて過ごした。  
玄関では、A と B は車を走らせて楽しんでいた。勢いよく走らせて遊んでいる姿があったが、たんぽぽ組の子どもたちにぶつかったら怪我をしてしまうことを伝え、安全運転で車を走らせている姿があった。また、C がブロックで家を作っていると、D(たんぽぽ組の子ども)がきて一緒に作り始めていた。しばらくしてもも組の子どもたちのみになると、C の作ったお家が気になった A が遊びに入ると、「やめて！」と怒る C の姿があった。たんぽぽの子どもたちと遊ぶ事で、少しお姉さんお兄さんになった気分のもも組の子どもたちだった。

この日は、水遊びをする子どもと室内で遊ぶ子どもと二つに分かれて過ごしていました。この時間以外にも、特に乳児クラスは玄関ホールを使って雨の日やプール後、午睡から早めに目覚めた子どもたちがクラスを超えて一緒に過ごしています。

この日誌に登場している D は、たんぽぽ組のお友だち…もも組にはない玩具もあり、玄関ホールで過ごすことを楽しみにしています。また、もも組の子どもたちの遊び方にも興味津々…よく見て模倣する姿も見られています。C は、そんな D の気持ちを汲んだのか一緒に作ることを受け入れてくれました。A と B も、もも組だけで遊んでいた時には、勢いよく走らせていた車も「たんぽぽ組のお友だちにぶつかったら怪我をさせてしまう」と大人が伝え、安全運転に切り替えていました。A、B、C も去年は一つ年上の子どもたちが遊んでいることに興味を持ち、憧れややってみたい気持ちにあふれていました。今年は 1 階のフロアーでは、その逆の立場になりました。“大きい”“小さい”の比較ができるようになる 2 歳児クラスのため、“大きい”という言葉には敏感で、生活の様々な場面で“大きくなった”という実感をもてるようになっていきます。年下のお友だちに頼りにされる経験を通して、やってあげたい気持ちが芽生えているのでしょうか。そんな子どもたちの優しい姿にとっても嬉しい気持ちになりました。

神愛保育園では、異年齢での関わりも大切にしています。特に夕方の時間は年中、年長クラスの子どもたちが 1 階の乳児クラスへ遊びに行きたいと言ってお世話してくれています。子どもたちのやってみたい気持ちを尊重し、頼りにされる経験から自信につなげていけるように関わっていきたいと思います。



## 「僕のうちはゲームができるのに・・・」

今日はひまわり組の部屋で (ちゅうりっぷ組にはない遊具に関心があるので) 子どもたちは色鉛筆を使って塗り絵をしたり、シルバニアで遊ぶ姿が多くみられた。A、B、C、D を中心にブロックやシルバニアの人形を使ってごっこ遊びを楽しむ姿が見られた。遊んでいると、D が使っていたおもちゃのテレビに対し、A と B が「このテレビにはゲームないよ」「おもちゃだから (本物の TV とは) ちがうよ」等と話した。そのようなことを言われた D は、「A も B もきらい」「もうみんなと遊ばない」と泣く姿が見られた。何が悲しかったのか保育者と話しをしたことで、D も落ち着き「A と遊ぶ」とまた遊びにもどる姿が見られた。カッとなってしまう場面はまだあるが、落ち着いて保育者と話すことで気持ちの切り替えが来ているように感じられた。

プールが始まりました。この時期「顔に水がつけられるようになった」「水をかけられても大丈夫になった」という子どもたちの成長の記事をたくさん目にします。プール活動もたくさんの成長の姿がありますが、保育室での子どもの関係性についての興味深い日誌がありましたので、今月はその日誌から 3 歳児の姿をご紹介します。

ひまわり組の子どもたちの年中・年長のどちらかがプール活動を行うときには、ちゅうりっぷ組 3 歳児はひまわり組に行っています。3 歳児クラスのお部屋にはない遊具に、興味関心がいっぱいです。3 歳児クラスになると、お友だちと協力して、協同して一緒に遊ぶことが多くなり仲間関係という思いが非常に強くなってくる時期です。この仲間関係は、「イメージの共有」をすることで遊びがどんどん深まってきます。反対に、イメージが共有されないと「いざこざ」に発展していくことも多くなります。乳児の時には、ものや場所の所有や取り合いが主な原因ですが、幼児クラスになると、あそびや生活、ルールに対しての意見やイメージの食い違いなどがいざこざに発展していくようです。ここでは、A と B が持っている TV のイメージと D のイメージに食い違いがあったのでしょう。さらに、3 人ともまだまだ自分の深い感情はもちろんのこと、本物の TV とおもちゃの TV の違いや、ゲームができない理由を聞くことができるまでの言葉の力を持っていません。そのため、D は、一番確実に伝えることのできる「嫌い」「もう遊ばない」が口から出たのでしょう。さらに、自分の今の気持ちを語ることができない代わりに泣いてしまったのでしょう。3 歳児クラスによくある場面です。その後、立ち直ってから、仲間関係に戻っていく。この積み重ねが、まだまだ続きます。大切にしたい姿ですね。

